

# さとひがし

大津市立仰木の里東小学校 学校だより 12月号②

☆自ら学び、心豊かで

たくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子

「や」 やさしく思いやる子

「げ」 元気な子



令和4年12月23日



## ふり返る

12月1日に実施したマイペースランニング大会において、子どもたちは練習の成果を存分に発揮していました。少し寒かったので、ベスト記録を出せなかった子どももありましたが、たくさんの保護者の方の応援を受け、どの子ども最後まで一杯走りきることができました。1～6年生の全学年で実施し、どの学年も「5分間」

走りまわりました。学年が上がるにつれ、「自分のペース」をしっかりと守り、同じペースで走りきることができるようになっていました。6年間かけて「マイペースのランニング」を身につけることができるのは素晴らしいことです。きっと生涯スポーツとして、ランニングを楽しむ人がたくさんいることでしょう。

## まずは「認め」「ほめる」、そして「励ます」！

早いもので、2学期も最終日を迎えました。新型コロナウイルスが今も感染拡大し、多くの制限がかかる中での学校生活が続きましたが、運動会や校外学習など、様々な行事を何とか工夫しながら実施することができました。保護者の皆様には、本校教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様には、昨日までに通知表をお渡しし、各担任より一人ひとりの学校での様子を伝えさせていただきました。長い2学期、子どもたちは本当によくがんばってきました。お家でも、通知表を元に2学期をふり返りながらいろいろとお話をさせていただいたことと思います。

その際、お子さんのがんばりをまずは「認め」、「ほめ」ていただきましたでしょうか。「励ます」ことはもちろん必要ですが、どんな小さなことであっても、まずは「認め」「ほめる」ことが大切です。



大津市教育委員会特別支援教育スーパーバイザーの先生は、「脳は感情が『快』の時に発達するので、がんばったことに対しては必ず『賞賛』することが必要です」とおっしゃいます。賞賛を受けることで、「幸せホルモン」と呼ばれているセロトニンやドーパミンが分泌されるそうです。人が楽しい、うれしいと感じるのはドーパミンがうまく分泌されることが影響しているといわれ、集中力がアップしたり、ポジティブな考え方ができるようになったりするともいわれています。

そして、何より注目しなければいけないのは、励ました（叱った）後に、ほめても「ドーパミンやセロトニンがうまく分泌されない」ということです。「順番」がとても大切なのだそうです。

子どもたちは、2学期の最後まで、一杯過ごしてきたと思います。改めてそのがんばりを「認め」「ほめ」ていただき、どの子どもにとっても「楽しい年の瀬・冬休み」になることを願っています。



## 学校からのお知らせとお願い

### 【Microsoft365 児童生徒用アカウントの配付について】

大津市では、市内の全児童に、Microsoft365 児童用アカウントを作成し、メール及びチャット機能を停止した状態で、1月中旬に配布する予定です。学校では情報モラル（情報の扱い方等）の指導を再度行いますが、ご家庭でも、今一度情報モラルについてお話をさせていただきますよう、お願いいたします。